

かさま 社協だより

No.40



編集・発行 2019.12.19

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



サロン「吉岡わらう会」

撮影 畠山

も く じ

- ① 『社協』を知っていますか？ 2
- ② 友部地区支部社協交流会・地域づくり研修会③
・フードバンク活動協定締結 3
- ③ 寄付つき赤い羽根自動販売機 4
- ④ サロン「吉岡わらう会」・相談支援実習を通して・ちょっといい話 ... 5
- ⑤ ボランティアセンターだより 6～7
- ⑥ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

『社協』を知っていますか？

その②

【笠間地区】

9支部4地区社協が設立されています。

こうゆう会
13区社会
福祉協議会
下市毛支部



【友部地区】

小学校区ごとに6支部社協が設立されています。

【岩間地区】

9地区社協が設立されています。

【注】 ●…地区社協が結成されているところ。
白抜きは、支部地区社協が未結成のところ。

支部地区社協編①

○必要性

自分たちの地域のさまざまな生活上の問題は、既存のサービスだけで解決することが難しくなっています。その問題を解決するには、昔ながらの「向こう三軒両隣り」の精神と「自分たちの地域の課題は、まず自分たちで取り組みよう」という住民の意識が必要になってきます。

○構成

区長・班長をはじめ、民生委員児童委員・子ども会・高齢者クラブ・公民館など地域で福祉活動に携わる者、その他学識経験者（個人）などで構成されています。

「住みよいまちづくり」に向けての活動を、地域住民自らが自主的に実践するために結成されたのが、支部地区社会福祉協議会です。

○活動内容

地域の様々な組織や団体などの相互の協力と役割分担により、主に次の活動への取り組みが考えられます。

◆在宅福祉活動

◆地域交流活動

◆広報・啓発活動

◆関係団体への支援と協力

◆調査活動

◆支部社協の組織・運営体制や基盤を強化する活動

◆支部地区社協間の連携・情報交換

◆行政等関係機関へ問題提起など

○主な財源

地区で集まった当年度の社協の会費の50%が、市社協より助成されます。また、年度内に2回以上の広報誌を発行すれば、広報助成金として、会費の5%が加算されます。

お知らせ

支部活動研究集会

日時 令和2年2月15日(土)

13時30分～16時

場所 友部公民館(大ホール)

支部活動等の発表がありますので、ぜひご参加ください。

令和元年度 友部地区 支部社協交流会

友部地区支部社協交流会が8月27日、地域福祉センターともべで行われた。支部同士の交流と情報交換を目的に宍戸、東、中央、大旭、北川根および大原の各支部から45人、事務局を含め約30人が参加した。

4班に分かれた後に、市内のサロン17団体の活動状況をビデオ紹介。次いで、自己紹介、グループワークに。

第一部は「他支部との話し合い」、支部の活動状況（自慢話も可）や課題がテーマ。話を聞くと、高齢者への配食



第一部「他支部との話し合い」

サービスや敬老会事業への協力、地域の催し物への参加等については積極的に行っているものの、一方で役員の高齢化・なり手不足・少子化に伴う青少年との関わりが希薄になっていること等が今後の活動の大きな課題になっている。

第二部は「支部内での話し合い」、第一部で得た情報をもとに今後の活動にどのように生かして行くかがテーマ。各支部から様々な意見が出されたが、主なものを3つ挙げる。

①支部活動の活発化
学校や警察等の協力を得て「地区懇談会」（宍戸支部の例を参考に）を行う。

②青少年を対象にした活動
子どもを主にしたイベント／広報誌に子どもの声の欄を作る（例「おおはらの子」）／配食のかけ紙への色塗り

③女性部会員を増やす
子どもの活動を通して親の社協への関心を高め入会につなげるPR活動等。

今回、初めての支部交流会、今後の支部活動に期待し、見守って行きたい。

（白土）

第3回地域づくり研修会
地域福祉センターともべ
10/31
88人参加

◆地域の話し合いを体験

医療・介護の需要が急速に増えると予想される2025年。公的なサービスだけではカバーできなくなることも予想されるため、地域の力で何かできないか、3回目の話し合いを行いました。

友部・笠間・岩間それぞれの地域に分かれ、さらに45人のグループで意見を出し合いました。

◆90歳になつての不安は

まずは、話し合いを体験してみようということで、「90歳になったとき不安なことは？」をテーマに討論しました。



少人数での話し合い

現在、病気を患っているの
で90歳まで生きられるか、生
きられたとしても、元気でい
られるか不安。車の運転がで
きなくなったり、一人暮らし
になつたらどうしよう。

また、病院に行く前に、健
康を保つ努力が必要、空き家
が増えてきているので、その
対策が必要など様々な問題が
出されました。

◆身近なところから改善

では、どうすれば良いか。
身近な所で、健康教室やお茶
飲みなどができるサロンを作
る。デマンドタクシーを使い
やすくする。病院などへの送
迎ボランティア、若い人たちが
参加しやすい地域活動を作
るなど色々出されました。

今後は、身近なところでの
話し合いをし、具体的な課題
を出し合い、改善に向け、市
や社協などとも協力しながら
「ともに支え合う地域づくり」
をめざしましょう。（藤森）

第4回地域づくり研修会

日時 令和2年1月18日(土)

13時30分～15時30分

場所 地域医療センターかさま

(南友部1966番地1)

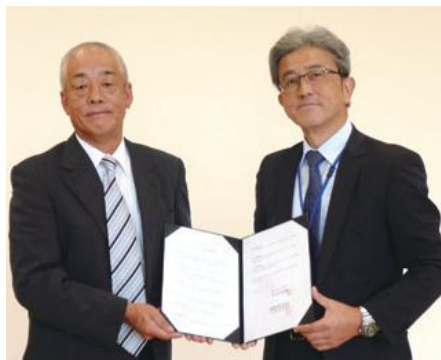
(株)カスミと
フードバンク活動
協定締結

(株)カスミは、販売期限が切
れても賞味期限がある商品を
廃棄せず、各社会福祉協議会
や施設への寄付を通じて社会
貢献活動をしています。

笠間市社会福祉協議会が令
和元年9月19日、(株)カスミと
フードバンク活動の協定を締
結しました。

寄付をしていただいた商品
を生活困窮になるおそれのあ
る方に食を支援することで自
立した生活が出来るようにし
ていきます。

また、生活困窮者以外にも
笠間市社会福祉協議会が行っ
ている事業に活用させていた
だき、福祉のまちづくりを目
指していきたいと思えます。



寄付つき 赤い羽根 自動販売機

自動販売機で気軽にできる“社会貢献活動”始めませんか？

寄付つき赤い羽根自動販売機とは？

－いつでも気軽に寄付ができる新しい仕組み－

飲み物が購入されるたびに、一定額（または一定割合）が赤い羽根共同募金に寄付される自販機のことです。お釣りの一部を寄付できる自販機もあります。

自販機を設置する人、飲料メーカー、購入者の誰もが寄付者となる新しい寄付のかたちです。



ポイント
1

導入コスト不要！
管理もお任せ！

ポイント
2

設置者の負担は
変わりません！

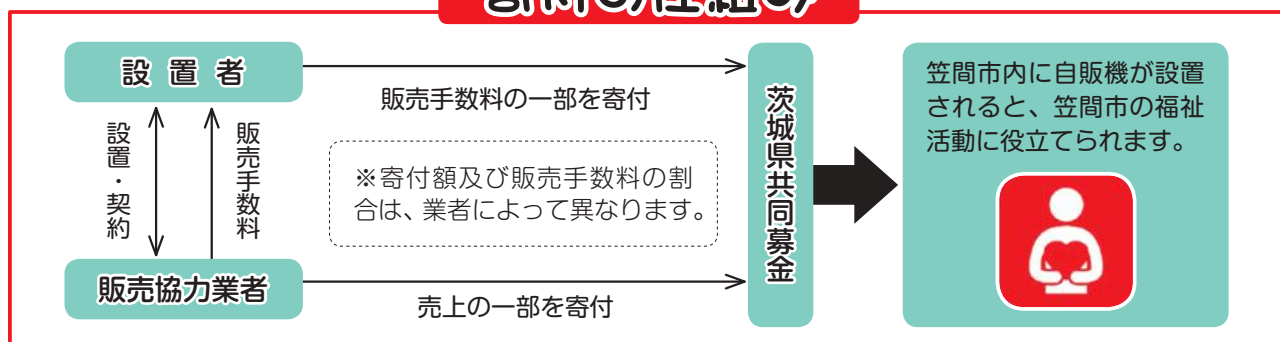
ポイント
3

取扱商品や条件が
選べます！

ポイント
4

メリットがあるからこそ、
注目されています！

寄付の仕組み



赤い羽根自動販売機 設置先一覧表

令和元年11月13日現在

施設・企業名	設置台数
(福)慈永会 宍戸苑	1台
(特非)茨城依存症回復支援協会	1台
(福)朝日会 愛の里	1台
ホンダドリーム笠間	1台
学校法人 大関学園 岩間第一幼稚園	1台
(株)フカツー	1台
(福)城北福祉会 佐白の館 ※契約準備中	2台
笠間市職員組合（笠間市役所内）※契約準備中	1台
(株)辰巳屋 ※契約準備中	1台
(福)笠間市社会福祉協議会 本所	2台
(福)笠間市社会福祉協議会 笠間支所	1台
(福)笠間市社会福祉協議会 岩間支所	1台
(福)笠間市社会福祉協議会 介護保険事業所	1台
合 計	15台

協力業者

コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
(株)伊藤園
ダイドードリンコ(株)
北関東ペプシコーラ販売(株)
(N)ハートフル福祉募金
FVジャパン(株)
水戸ヤクルト販売(株)
(株)オリエンタル商事
(株)松本

※メーカーにより、募金ボタン付き自動販売機や、災害時対応自動販売機もあります。



お問い合わせ先 笠間市社会福祉協議会
笠間市美原3-2-11 [TEL] 0296-77-0730

みんなでワイワイ、ストレス解消 サロン「吉岡わらう会」

秋本 英裕



おいしくできた混ぜご飯

平成31年4月から仲間入りの自己紹介をします。山田文子会長の下、20人で発足しました。モットーは、一人暮らしの人、仲間のいない人みんな。ワイワイガヤガヤ唄い、話し合い、食事をし、とにかく楽しくストレス解消、「元気が一番」です。

下は60代後半から上は80代の男女で活動中。毎月20日、吉岡の山田会長宅での食事が基本ですが、春の新緑と紅葉時期は、長沢地区の鈴木さん宅で自然を堪能します。

定期会合以外では、カラオケ大会、5月の青空の下での山菜採り、6月は遠出で、山形にサクランボ狩りと大人の遠足を楽しんで来ました。10月20日の定例会は鈴木さん宅で開かれました。紅葉には少し早かったけれど、テーブルの上は料理自慢の女性軍により、色とりどりの料理であふれました。この日は写真撮影もありました。決して高級食材を使っているわけではありませんが、愛情と腕で豪華料理に変身、アルコールは無しです。

この日は会員全員勢ぞろい。カメラマンの畠山さんの知り合いもあり、昔話にも花がさき、いつものようにワイワイガヤガヤ、あつという間に3時間の解散時間となりました。ちなみに1回500円会費で行います。

最後に、集合写真で怒った顔の人、面白くない顔の人もいます。全員笑顔です。わらう会には福きたりです。これからは元気が一番で進みます。社協の方々、サロンの皆さんよろしくお願いします。

配食サービスでは、大量の食材を切ったり、炒めたりして普段の生活では料理をしたことがないため大変でした。就労継続支援事業では納期を守るために、みんなで頑張るために、みんなに収納したことや、夏休みわくわく体験でたくさんのお学生と一緒に体操や工作をしたことが今でも思い出されます。

そして、多くの活動を支えているボランティアの存在が印象に残りました。特にボランティアの高齢化が深刻な問題であり、今まで培われた技能が途絶えてしまうことに懸念を抱いています。

毎日の実習指導を受ける中で、地域福祉活動の重要性と活動を継続させるために多くのボランティアの方々活動させている現場と一緒に体験させていただきました。

また、利用者様と信頼関係を結ぶまでには長い日数がかかることや、コミュニケーションを図るための会話技法の重要さも学ぶことが出来ました。

しかし、実際に現場で体験となると、社会福祉に対する熱意だけでは思うようにいかず、自身の知識や経験の浅さを痛感しましたが、社会福祉協議会で行われている沢山の福祉活動を体験して、社会福祉士になりたいという想いが一層強くなりました。

実習中は、職員の皆様から多くの学びをいただくことができ、24日間の実習は私にとりまして、かけがえのない時間となりました。最後にお世話になりました笠間市社会福祉協議会の職員の皆様、ボランティアの方々、利用者様、市民の皆様ありがとうございました。

「食糧危機」をご存知でしょうか。これは地球の人口が今後増加するのに対し、異常気象などにより食糧確保が難しくなるという問題です。

それに伴い、国連では「持続可能な開発目標」(SDGs)に具体的数値目標として「フードロス」の削減を取り決め、近頃ニュース等で耳にした方も多々あります。

それにも関わらず我が国では平成28年だけで643万トンも廃棄され、昨今は恵方巻など問題視されています。また、その中には家庭での食品廃棄がかなりの割合を占めているとの事です。

そのようなロスを減らすためにも「フードバンク」や「善意銀行」を活用すれば、地球環境に優しいだけでなく、地域に対しても誰もが貢献できます。未来のために、今出来ることを「地球規模で考え足元から行動する」事が解決の糸口になるのではと思います。(入江)

「食糧危機」をご存知でしょうか。これは地球の人口が今後増加するのに対し、異常気象などにより食糧確保が難しくなるという問題です。

それに伴い、国連では「持続可能な開発目標」(SDGs)に具体的数値目標として「フードロス」の削減を取り決め、近頃ニュース等で耳にした方も多々あります。

それにも関わらず我が国では平成28年だけで643万トンも廃棄され、昨今は恵方巻など問題視されています。また、その中には家庭での食品廃棄がかなりの割合を占めているとの事です。

そのようなロスを減らすためにも「フードバンク」や「善意銀行」を活用すれば、地球環境に優しいだけでなく、地域に対しても誰もが貢献できます。未来のために、今出来ることを「地球規模で考え足元から行動する」事が解決の糸口になるのではと思います。(入江)

「食糧危機」をご存知でしょうか。これは地球の人口が今後増加するのに対し、異常気象などにより食糧確保が難しくなるという問題です。

それに伴い、国連では「持続可能な開発目標」(SDGs)に具体的数値目標として「フードロス」の削減を取り決め、近頃ニュース等で耳にした方も多々あります。

それにも関わらず我が国では平成28年だけで643万トンも廃棄され、昨今は恵方巻など問題視されています。また、その中には家庭での食品廃棄がかなりの割合を占めているとの事です。

そのようなロスを減らすためにも「フードバンク」や「善意銀行」を活用すれば、地球環境に優しいだけでなく、地域に対しても誰もが貢献できます。未来のために、今出来ることを「地球規模で考え足元から行動する」事が解決の糸口になるのではと思います。(入江)

「食糧危機」をご存知でしょうか。これは地球の人口が今後増加するのに対し、異常気象などにより食糧確保が難しくなるという問題です。

それに伴い、国連では「持続可能な開発目標」(SDGs)に具体的数値目標として「フードロス」の削減を取り決め、近頃ニュース等で耳にした方も多々あります。

それにも関わらず我が国では平成28年だけで643万トンも廃棄され、昨今は恵方巻など問題視されています。また、その中には家庭での食品廃棄がかなりの割合を占めているとの事です。

そのようなロスを減らすためにも「フードバンク」や「善意銀行」を活用すれば、地球環境に優しいだけでなく、地域に対しても誰もが貢献できます。未来のために、今出来ることを「地球規模で考え足元から行動する」事が解決の糸口になるのではと思います。(入江)



「食糧危機」をご存知でしょうか。これは地球の人口が今後増加するのに対し、異常気象などにより食糧確保が難しくなるという問題です。

それに伴い、国連では「持続可能な開発目標」(SDGs)に具体的数値目標として「フードロス」の削減を取り決め、近頃ニュース等で耳にした方も多々あります。

それにも関わらず我が国では平成28年だけで643万トンも廃棄され、昨今は恵方巻など問題視されています。また、その中には家庭での食品廃棄がかなりの割合を占めているとの事です。

そのようなロスを減らすためにも「フードバンク」や「善意銀行」を活用すれば、地球環境に優しいだけでなく、地域に対しても誰もが貢献できます。未来のために、今出来ることを「地球規模で考え足元から行動する」事が解決の糸口になるのではと思います。(入江)

センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」では、「長谷川幸介先生の講演会」を行いました。

女性の食事づくり講座修了生による新たなサークル活動が第一歩を踏み出しました。

「講座からボランティア活動に」を実践した令和第一号です。

ボランティア連絡協議会の友部支部では「ボランティア大集合」で「ある町の高い煙突」が上映されました。また、笠間支部では「ボランティア交流会」が行われました。

恒例の福祉バザーが友部支部・笠間支部・笠間支部で行われました。



二人でのトークショー

先日、長谷川先生の講演を聞く機会を得ました。先生は風貌、声、かもし出す雰囲気どれをとってもやさしさにあふれ、ユーモアたっぷりでした。私たちに幸せのおすそ分けをしてくださいました。しかも途中からはお隣さん（先生の住む地域の自治会長さん、先生は副会長とのこと）と二人で漫才しながらのトークショーが始

10/8

スペシャル
「地域福祉力」と
「幸せ羅針盤」
長谷川幸介先生の講演会
旭町 池田ひろ子
46人参加

「第一火曜日の会」

まり、理解能力の衰えている私にもよりわかりやすく興味をもたせてくれ楽しい講演会にしてくれました。改めて幸せに生きるとはを考えさせられました。

講演はテーマにそって進みわかりにくいところは図解、実例などにより理解できるようにしてくれました。

具体的な例としては、夫婦間で名前で呼びあうとか、頼み事があれば「これ頼むよ」「ありがとう」と声かけが大事。認知症についても医学的には個人としての診断だけれども、同居人がささえれば認知症ではない、そう思えばこわくないでしょう。また目と目をあわせたり、たわいのない話をしたり、スキンシップをしたりすれば幸せのホルモン「オキシトシン」が出て徘徊している人もおさまってくる話等々、なるほどと思える話がいっぱいでした。それから退職後の男性についても、「名刺社会のなかで生きてきたのでなかなか外に出られない、どうしたらいいのでしょうか」。それには、やった事を認める、ほめることだそうです。

ふだん考えることのない大切な課題に触れ、充実した時を過ごす事ができました。



まずは勉強会から

令和元年度
講座から
ボランティア活動に
女性の食事づくり
ボランティア講座終了生
「オリリーブの会」

超高齢社会を迎え、地域での福祉活動がますます重要になってきました。そこで女性も再度『高齢者の食事』について学習し、地域へのボランティア活動に参加していただきたく講座を開催しました。

3回の講座（7/4・7/18・8/1）は、参加者が10人でした。その後これからの活動についての話し合いが行なわれ、5人の方が月一回の食事作りに取り組むこととなりました。

10月の初めにはサークル名も決まり、これからの活躍に大きな一歩となりました。

ボランティアセンターから

ひとりごと

人生一番の幸福は布団に入ったらずくに7時間ぐっすり眠り、朝にすっきりと目覚める事と思っている。自分や家族に体の不調や病氣・怪我、心配事等のストレスがあればそうはいかないと思う。

私は40才頃までは地震にも気づかないくらい熟睡していたが、中途覚醒で睡眠に満足感がなくなり、平成10年から15年間にわたり毎日ではないが睡眠導入剤を服用していた。しかし、あまり効用がないので止めた。

そして今、日常心掛けている事は朝のラジオ体操。散歩等少し体が疲れる位に動く。寝付けないう時には深呼吸しながら数を数える事やラジオ・CDをタイマーをかけて聞く。中途覚醒したら、NHKラジオ深夜便を眠くなるまで聞く。

こんな事は仕事をしているとできない事だが気楽に考えたい。良い睡眠はどうしたらいいのか課題だ。（O男）

◆問い合わせ先

笠間市ボランティアセンター
TEL 0296 (78) 2626



バザーに向けての値段付け作業（岩間支所）

ボランティア

住みよいまちづ

令和元年度 ボランティア連絡協議会研修会

ボランティア連絡協議会は各地区ごとに組織され、ボランティア仲間づくりや交流を深めています。



11/28

友部地区

ボランティア大集合 「映画鑑賞とトークショー」

今回、研修会で上映した「ある町の高い煙突」は、私達ボランティア活動のなかで人々にかかわり支援していく行動に重なる所がありました。100年以上前の明治38年に世界中の近代化が進む中、需要に応えるべく発展を続け煙害をもたらした日立鉱山。美しい山々や農作物等に被害を与え日に日に増大した為、一青年が住民とともに企業に對し解決策を話し合い、やがて想像もつかない大煙突の建設につなげていきました。

友部公民館 168人参加
友部支部会長 川澄 清子



勇気ある行動が地域を大きく変える事が出来ました。私達の活動も地域の支えとなれるよう、努力していきたいと思っています。

笠間地区

ボランティア交流会

10月4日、笠間支部ボランティア交流会が、今回6回目となる「輪投げ大会」を笠間市民体育館で行われました。167人の参加者が35チームに分かれ、それぞれの賞を目指して心地よい汗を流しました。

岩間地区

2月中旬 交流会開催

ボランティア連絡協議会岩間支部交流会を2月中旬、交流センター「いわま」において開催します。内容は「落語」で楽しんでいただきます。

令和元年度 ボランティア連絡協議会 福祉バザー

●友部支部

10月20日

友部公民館

●岩間支部

11月9日

市民センターいわま

●笠間支部

11月9日

社協笠間支所

（石井717）

皆様のご協力に感謝!!

福祉バザー売上金

10/20	友部支部	471,659円
11/ 9	笠間支部	154,922円
11/ 9	岩間支部	244,420円

※益金は地域福祉活動費として活用させていただきます。

古布分別

笠間支部会長 小室 和子

澄み渡った秋空の下、去る11月21日古布分別作業のボランティアが行われました。

「古布」とは家庭に眠っている古着等のことです。各家庭から回収された古布は、笠間から遠く離れたパキスタンの子ども達への教育支援へと役立てられています。古布は「男性用」「女性用」「子ども用」さらに

「コート類」「長袖類」「ズボン類」等、細かく分別し、たうで送ります。

この日、ボランティアの皆さんは朝早くから集まり、熱心に分別作業を行っていました。雑多な古布の中にも多く体力もかなり使います。でも皆さん、始終にこやかに作業を続けておられました。山のようにあった古布の分別が終わった時の達成感、この日の青空のように、とても爽やかなものでした。



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和元年7月1日～令和元年10月31日まで(順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ、使用済み切手等

県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
岩間第一小学校
株式会社DCL
グループホーム花木水
友部第二中学校
市川 芳一
稲田小児童クラブ
入澤法律事務所
山中 としい
大原小児童クラブ(ポプラの会)
こじか幼稚園
額田 義文
笠間陽だまり館
ともべ幼稚園
茨城県退職公務員連盟笠西支部笠間・七会分会
めぐみこども園
友部高等学校 JRC部
株式会社 常陸鎔接工業所
穴戸ヒルズカントリークラブ
明治安田生命 笠間営業所
旭化成メタルズ株式会社
岩間第一小学校児童クラブ
笠間市役所農政課
入江 照男
グループホームあさがお
いわま保育園
常陽銀行 笠間支店 職員一同
笠間市農業公社
友部中学校
穴戸小学校児童クラブ
友部小学校児童クラブ
泰栄電器株式会社
笠間市笠間地区民生委員児童委員協議会

岡野 けい子
なかよし学童保育の会 みなみ学園児童クラブ
大沢保育園
ナブコシステム株式会社 茨城支店
高齢者クラブ 旭台睦会
生長の家茨城県教化部 白鳩会
有限会社 伊藤石材工業
持丸 一幸
友部自動車学校
サービス付高齢者向け住宅スマイル
おしのべ保育園
手打ち甚兵衛そば 柏屋
友部小学校児童会
ありんこ
長谷川 英俊
高齢者クラブ原宿会
くるす保育所
有限会社笠間給食センター 従業員一同
笠間市更正保護女性会友部支部
日吉町区
認定こども園大成学園いなだこども園
みか保育園
笠間市更正保護女性会笠間支部
酒井 謙治
匿名
日用品等
こうゆう会 姫殿会
茨城県退職公務員連盟笠西支部笠間・七会分会
茨城県退職公務員連盟笠西支部友部分会
茨城県退職公務員連盟笠西支部岩間分会
飯田 憲一
塙 よし江
高齢者クラブ原宿会

育児・介護用品等

増淵 明美
サービス付高齢者向け住宅 一期一笑

娯楽用品等

こうゆう会 姫殿会

食品等

匿名

金 銭

ありがとう感謝チャリティーコンサート
¥18,000
庭先販売いわま推進協議会 ¥14,164
三友会 ¥5,590
コロナの会 手芸愛好会 ¥10,000
(有)笠間給食センター 従業員一同 ¥9,165
笠間市チャリティーゴルフ大会実行委員会 ¥239,848
笠間市チャリティーゴルフ大会実行委員会
オークション ¥40,000
JA常陸笠間地区親睦ゴルフ大会 ¥42,970
匿名 ¥15,690



第14回 笠間市チャリティーゴルフ大会

お詫びと訂正

社協だよりNo39の「支部・地区社協運営委員紹介」及び「笠間市ボランティア連絡協議会役員紹介」で、誤りがありましたのでお詫びを申し上げて訂正いたします。

●P.6支部・地区社協運営委員が決まりました[岩間地区]

新渡戸 運営委員長 【誤】 数納 亨
【正】 数納 亨

●P.9新たな役員でスタート

友部支部 会計 【誤】 池田 和輔
【正】 安達 武雄

「職人の力」
これは、当時百歳を迎える人との体験談です。
その人は、京都の染物屋で布地を扱ってきた、経験豊かな職人さんでした。
ある時、私の絹の財布を手にして「この布には、スフ糸が使われているから滑る。財布用の布は、絹の糸と綿の糸を縦と横に織り込む。これで懐から、財布が滑り落ちることを防ぐ」とのことでした。
指先の感触で、布の素材が分かる職人の能力と、物作りの知恵に感動しました。
今は亡き人との出会いが、忘れられません。
(Y)

編集後記

令和元年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までをお願いします)

場所	笠間支所 [第2・4火曜日]	本 所 [第2・4水曜日]	岩間支所 [第1・3木曜日]
月	社協笠間支所	地域福祉センターともべ (旧友部社会福祉会館)	地域福祉センターいわま (旧岩間保健センター)
2月	11日 25日	12日 26日	6日 20日
3月	10日 24日	11日 25日	5日 19日

法律相談 ※法律相談は、事前に心配ごと相談へご相談ください。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00~12:00	第1金曜日 10:00~12:00	第2金曜日 10:00~12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

本 所 TEL0296-77-0730 FAX0296-78-3933
笠間支所 TEL0296-73-0084 FAX0296-72-3722
岩間支所 TEL0299-45-7889 FAX0299-45-6250